

ロジスティクス強調月間 2025

結果報告書

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会

ロジスティクス強調月間 2025 結果報告書

目 次

ロジスティクス強調月間 2025 プロモーション活動	1
ロジスティクス強調月間 2025 活動概要	4
ロジスティクス強調月間 2025 推進委員会 委員一覧	6
ロジスティクス強調月間 2025 パンフレット	

ロジスティクス強調月間2025 サポーター一覧

(44社)

(株)IHI	(株)ダイフク
アセンド(株)	中国通信資材(株)
(株)アライプロバンス	Tebiki(株)
(株)あらた	デロイト トーマツ コンサルティング(同)
E80 グループジャパン(同)	トーヨーカネツ(株)
SBSリコーロジスティクス(株)	(株)豊田自動織機 トヨタ L&F カンパニー
(株)NTT ロジスコ	(株)トランストロン
王子物流(株)	日通 NEC ロジスティクス(株)
(株)オプティマインド	日本貨物鉄道(株)
花王(株)	日本通運(株)
鹿島建設(株)	日本電気(株)
クボタロジスティクス(株)	(株)日本海事新聞社
X Mile(株)	ハービット(株)
コマツ	(株)パーマンコーポレーション
(株)サーガ	(株)ハンナ
サカタウエアハウス(株)	(株)フジトランス コーポレーション
サンコーインダストリー(株)	船井総研ロジ(株)
(株)ジャパン・リリーフ	(株)フリーロケーション
(株)スピードロール	三菱商事(株)
(株)住友倉庫	(株)ライノス・パブリケーションズ
西部電機(株)	(株)流通研究社
センコーグループホールディングス(株)	(株)ワールドスタッフィング

ロジスティクス強調月間 2025 プロモーション活動

ロジスティクス強調月間 2025 サポーターのご支援のもと、全国各地でのイベント開催や、情報発信の活動を通じて、ロジスティクスの意識高揚を呼びかけた。

1. ロジスティクス強調月間 2025 特設サイト からの情報発信

ロジスティクスで未来を拓く
～DXと連携が実現する次世代サプライチェーン～

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会は、9月・10月をロジスティクス強調月間と定めて、社会全体にロジスティクスの重要性を広める活動を展開します。期間中、最新情報を提供する講演会や、企業や関連部門が連携するための交流会などを行います。ロジスティクス強調月間で学び、つながり、ともに課題解決に取り組みましょう。

ロジスティクス強調月間2025イベント

<p>ロジスティクス全国大会 ▶</p> <p>企業の最新事例、ロジスティクス大賞表彰事例を発表 本イベントは終了しました</p> <p>会期 2025年9月25日(木)、10月17日(金)</p>	<p>中部ミライノ物流EXCO2025 ▶</p> <p>中部開催、物流課題解決のための情報共有と交流の場 本イベントは終了しました</p> <p>会期 2025年10月24日(金)</p>
<p>九州ロジスティクス講演会 ▶</p> <p>九州・山口地域のロジスティクスの先進事例を発表 本イベントは終了しました</p> <p>会期 2025年10月27日(月)</p>	<p>関西物流改善事例発表会 ▶</p> <p>関西地域の企業を中心とした、物流改善の成果発表会 本イベントは終了しました</p> <p>会期 2025年10月30日(木)</p>

特設サイト・トップページ

ロジスティクス強調月間2025 サポーター一覧

ロジスティクス強調月間2025は、44社のサポーターの支援のもと活動を展開します。

サポーター紹介

サポーター紹介

2. ロジスティクス強調月間 2025 ポスター、パンフレットなどによる情報発信

9・10月

ロジスティクス 強調月間2025

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会は、9月・10月をロジスティクス強調月間と定めて、社会全体にロジスティクスの重要性を広める活動を展開します。期間中、最新情報を提供する講演会や、企業や関連部門が連携するための交流会などを行います。ロジスティクス強調月間で学び、つながり、ともに課題解決に取り組みましょう。

2025年度テーマ

ロジスティクスで未来を拓く
～DXと連携が実現する次世代サプライチェーン～

ロジスティクス強調月間2025 サポーター(※)

関連イベント

- 9月10日(水)～12日(金) 物流総合展2025 INNOVATION EXPO
- 9月25日(木)・10月17日(金) ロジスティクス全国大会2025
- 10月30日(木) 関西物流改善事例発表会2025
- 10月24日(金) 中部ミライノ物流 EXCO 2025
- 10月27日(月) 九州ロジスティクス講演会2025
- 9月25日(木)・10月17日(金) 交流会Logistics Meetup

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JLN 総合研究所 〒105-0022 東京都港区新橋1-15-1 スズキビルディング E-mail: tsk@logistics.or.jp

強調月間ポスター

ロジスティクス強調月間2025 9・10月

会場参加・オンライン参加選択形式で開催

ロジスティクス 全国大会2025

ロジスティクスで未来を拓く ～DXと連携が実現する次世代サプライチェーン～

会期

9月25日(木) 10:00～16:55

10月17日(金) 13:00～17:00

開催形式

会場参加・オンライン参加の選択形式

会場参加
ペルサービル9F (※観覧無料)

オンライン
Zoom ウェビナー

主催

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会

ロジスティクス強調月間2025サポーター 一覧

株式会社H&A	アネックス株式会社	株式会社アーク	株式会社日本海運株式会社
アネックス株式会社	AMM株式会社	中国通関株式会社	パナソニック株式会社
株式会社チヨロリス	アール	株式会社トリアーケル・ソリューション	株式会社トリアーケル・ソリューション
株式会社オムニ	株式会社オーブ	アロートレーブ コンサルティング(株)株式会社	株式会社シグマ
EB&Oグループ(株)の関連会社	サカベエグループ(株)の関連会社	トーヨーエスエス株式会社	株式会社ロジスティクス・ソリューション
株式会社エフエスエス	株式会社エフエスエス	株式会社ロジスティクス・ソリューション	株式会社ロジスティクス・ソリューション
株式会社NTTロジスコ	株式会社ロジスコ	株式会社ロジスコ	株式会社ロジスコ
王子製紙株式会社	株式会社王子製紙	株式会社ロジスコ	株式会社ロジスコ
株式会社アビエック	株式会社アビエック	株式会社ロジスコ	株式会社ロジスコ
西濃運輸株式会社	西濃運輸株式会社	株式会社ロジスコ	株式会社ロジスコ
センコーグループ(株)の関連会社	センコーグループ(株)の関連会社	株式会社ロジスコ	株式会社ロジスコ

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JLN INSTITUTE OF LOGISTICS SYSTEM

イベントパンフレット

3. 専門誌・専門紙への広告掲載

- 1) 月刊マテリアルフロー(発行:株式会社流通研究社)
- 2) 月刊ロジスティクス・ビジネス(発行:株式会社ライノス・パブリケーションズ)
- 3) 日本海事新聞(発行:株式会社日本海事新聞社)
- 4) 機関誌ロジスティクスシステム(発行:公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会)

4. 専門誌・専門紙への記事掲載

- 1) カーゴニュース(掲載元:株式会社カーゴ・ジャパン)
- 2) 機関誌ロジスティクスシステム(発行:公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会)

5. ニュースリリース配信(PR TIMES、プレスリリースなど)による Web メディアへの掲載

- 1) 中日新聞
- 2) NIKKEI COMPASS
- 3) リビング大阪 Web
- 4) リビング東京 Web
- 5) 中国新聞デジタル
- 6) Infoseek ニュース
- 7) WalkerPlus
- 8) エキサイトニュース
- 9) 山口新聞
- 10) 愛媛新聞 ONLINE
- 11) 東洋経済オンライン
- 12) 大分合同新聞プレミアムオンライン
- 13) 南日本新聞
- 14) 茨城新聞クロスアイ
- 15) AGARA 紀伊民報
- 16) ニフティニュース
- 17) とれまがニュース
- 18) NewsPicks
- 19) さんいち Eye 山梨日日新聞電子版
- 20) 現代ビジネス
- 21) 徳島新聞電子版
- 22) ジョルダンニュース
- 23) 朝日新聞デジタルマガジン
- 24) LNEWS
- 25) LOGISTICS TODAY
- 26) 産経ニュース
- 27) Days ニュース
- 28) サードニュース

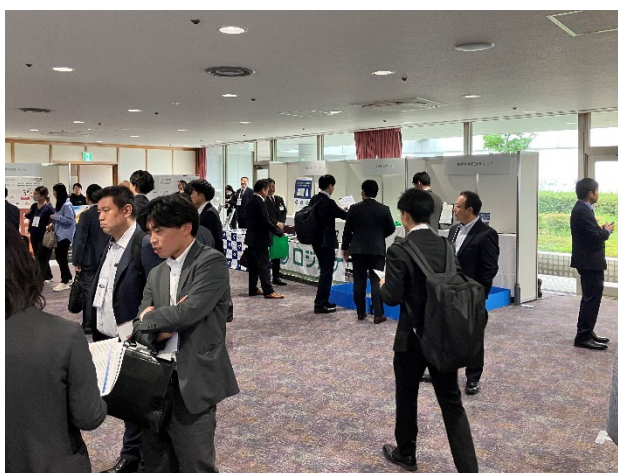
6. ロジスティクス強調月間 2025 各イベント開催の様子



ロジスティクス全国大会 2025



交流会 Logistics Meetup



中部ミライノ物流 EXCO 2025



関西物流改善事例発表会 2025



九州ロジスティクス講演会 2025 名刺交換会

ロジスティクス強調月間 2025 活動概要

1. 趣旨:

ロジスティクス強調月間は、社会全体へロジスティクスの重要性をより強力に普及推進するために、特定の月間を定め啓発を行うものである。

2. 主催:公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会

3. 企画・運営:ロジスティクス強調月間 2025 推進委員会

4. 期間:2025 年 9 月および 10 月

5. 統一テーマ:

ロジスティクスで未来を拓く～DXと連携が実現する次世代サプライチェーン～

6. 内容:

1)各媒体の活用による情報発信

特設サイトおよび協会機関誌などから情報発信を行い、ロジスティクス意識高揚を呼びかけた。

(1)ロジスティクス強調月間 2025 サポーター企業が描く未来戦略インタビュー

サポーターにロジスティクスの課題やソリューションをインタビューなどで伺い発信をした。

(2)「国際物流総合展 2025 INNOVATION EXPO 4th」取材レポート

国際物流総合展の会場を取材し、展示会の様子や出展ブースの傾向などから読み取れる物流の動向などを記事にした。

2)報道機関との連携

報道機関と連携したキャンペーン展開を目的として、以下の通りニュースリリース配信を行った。

(1)報道関係者へ、ニュースリリースの掲載依頼を行った。

(2)ニュースリリース配信サービス(PR TIMES)を利用し、配信を行った。

3)ポスター、パンフレット媒体の活用

(1)JILS 会員企業(※)へ、ロジスティクス強調月間 2025 のパンフレットを配布し、ロジスティクス強調月間 2025 の案内と、関連イベントへの参加の呼びかけを図った。

(※)JILS 会員企業 約 1,100 社 登録者約 3,300 名

(2)JILS 関連イベントでロジスティクス強調月間 2025 のポスターを掲示して意識高揚を図った。

4)メールマガジンの活用

JILS 会員企業、事業利用者などが登録するメールマガジン「JILS 通信」にてロジスティクス強調月間 2025 に関する情報発信を行った。

・メールマガジン登録件数 約 175,000 件

・配信回数 16 回(内、ロジスティクス強調月間 2025 の特集・関連イベントの専用配信は 6 回)

5)ロジスティクス強調月間 2025 の関連イベントの実施

ロジスティクスの意義の普及推進のため、講演会、事例発表会、交流会を開催した。

ロジスティクス全国大会 2025

- (1)会期:2025年9月25日(木)・10月17日(金)
- (2)会場:ベルサール虎ノ門/Live オンライン
- (3)申込人数:464名(3セッション合計)

中部ミライノ物流 EXCO 2025

- (1)会期:2025年10月25日(金)
- (2)会場:名古屋市中心企業振興会館
- (3)申込人数:396名

関西物流改善事例発表会 2025

- (1)会期:2025年10月30日(木)
- (2)会場:TKP ガーデンシティ大阪リバーサイドホテル/Live オンライン
- (3)申込人数:197名

九州ロジスティクス講演会 2025

- (1)会期:2025年10月27日(月)
- (2)会場:リファレンス駅東ビル/Live オンライン
- (3)申込人数:76名

各イベントのプログラムはロジスティクス強調月間 2025 パンフレットに掲載

7)国際物流総合展 2025 INNOVATION EXPO 4th の開催

ロジスティクス強調月間 2025 の催しの一環として、ロジスティクス・物流に関する内外の最新物流機器・システム・情報等のソフトやハードが一堂に結集する専門展示会「国際物流総合展 2025 INNOVATION EXPO」を開催した。

会期:2025年9月10日(水)~12日(金) 各日10:00~17:00

会場:東京ビッグサイト INNOVATION EXPO 4th(東京国際展示場) 東4~8ホール

総来場登録者数:52,856名

8)サポーター制度

ロジスティクス強調月間の気運を盛り上げ、ロジスティクス普及活動の活性化を図るため、サポーター制度を設けた。サポーター企業については、JILS ホームページ、各専門誌広告等に企業名、企業ロゴ等を掲載し紹介した。サポーター企業には44社に参画いただいた。

以上

ロジスティクス強調月間2025 推進委員会 委員一覧

(順不同・敬称略)※所属・役職名は10月1日時点

1	委員長	早稲田大学	吉本 一穂	名誉教授
2	副委員長	コクヨ(株)	宮澤 典友	執行役員 ビジネスサプライ事業本部長 (株)カウネット 代表取締役社長
3	副委員長	日本通運(株)	岡部 憲一	安全・品質・業務推進部長
4	委員	(株)あらた	大原 康一	ロジスティクス本部 室長
5	委員	イオン(株)	手塚 大輔	執行役 物流担当
6	委員	(株)NTTデータ	田口 基	第三公共事業本部 デジタルプラットフォーム事業部 第一システム統括部 第一営業担当 部長
7	委員	大塚倉庫(株)	阿部 直弘	コネクティッド本部 課長
8	委員	(株)オプティマインド	松下 健	代表取締役社長
9	委員	経済産業省	平林 孝之	商務・サービスグループ 物流企画室 室長
10	委員	国土交通省	高田 龍	物流・自動車局 物流政策課長
11	委員	佐川急便(株)	竹下 博士	東京本社 CSR 推進部 CSR 推進課 課長
12	委員	(株)ダイフク	高光 巧一	広報部 参与
13	委員	東京都市大学	大久保寛基	デザイン・データ科学部 デザイン・データ科学科 教授
14	委員	トラスコ中山(株)	半田 尚也	物流本部 物流改革部 部長
15	委員	日本貨物鉄道(株)	麦谷 泰秀	執行役員 鉄道ロジスティクス本部 営業統括部長
16	委員	日本郵便(株)	嶋津 泰毅	ロジスティクス事業部 部長
17	委員	日本マクドナルド(株)	南 真人	サプライチェーン本部 ロジスティクス部 統括マネージャー
18	委員	NEXT Logistics Japan(株)	中條 太	幹線輸送事業本部 本部長
19	委員	(株)バローホールディングス	上口 隆一	可児チルド物流センター 流通技術本部 物流部 部長
20	委員	(株)バンダイロジパル	小泉秋桜子	執行役員 グローバル事業本部 グローバル統括部 ゼネラルマネージャー
21	委員	丸紅ロジスティクス(株)	山田 洋之	常務執行役員
22	委員	三菱商事(株)	深井 高広	食品流通・物流本部 物流開発部長
23	委員	(株)吉野家ホールディングス	幸重 太亮	グループ商品本部 商品統括部 部長
24	委員	ライオン(株)	木村 忠彦	サプライチェーン企画本部 副本部長 兼 ロジスティクス政策部長

会場参加・オンライン参加選択形式で開催

ロジスティクス 全国大会2025

ロジスティクスで未来を拓く ~DXと連携が実現する次世代サプライチェーン~

会期

9月25日(木)
10:00~16:55

10月17日(金)
13:00~17:00

開催形式

**会場参加・
オンライン参加
の選択形式**

会場

ベルサール虎ノ門
(東京都港区)

オンライン

Zoom ウェビナー

主催

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会



ロジスティクス強調月間2025サポーター 一覧

株式会社IH1	クボタロジスティクス株式会社	株式会社ダイフク	株式会社日本海事新聞社
アセンド株式会社	X Mile株式会社	中国通信資材株式会社	ハービット株式会社
株式会社アライブロバンス	コマツ	Tebiki株式会社	株式会社パーマンコーポレーション
株式会社あらた	株式会社サーガ	デロイト トーマツ コンサルティング合同会社	株式会社ハンナ
E80グループジャパン合同会社	サカタウエアハウス株式会社	トヨーカネット株式会社	株式会社フジトランスコーポレーション
SBSリコーロジスティクス株式会社	サンコーインダストリー株式会社	株式会社豊田自動織機 トヨタL&Fカンパニー	船井総研ロジ株式会社
株式会社NTTロジスコ	株式会社ジャパン・リリーフ	株式会社トランストロン	株式会社フリーロケーション
王子物流株式会社	株式会社スピードロール	日通NECロジスティクス株式会社	三菱商事株式会社
株式会社オプティマインド	株式会社住友倉庫	日本貨物鉄道株式会社	株式会社ライノス・パブリケーションズ
花王株式会社	西部電機株式会社	日本通運株式会社	株式会社流通研究社
鹿島建設株式会社	センコーグループホールディングス株式会社	日本電気株式会社	株式会社ワールドスタッフィング

ロジスティクス全国大会 プログラム

2025年9月25日(木)

セッション1

10:00
}
10:05

開会挨拶

ロジスティクス強調月間推進委員会 委員長 (早稲田大学 名誉教授)

吉本 一穂

10:05
}
10:20

【主催者挨拶】

これからのロジスティクスのあるべき姿(仮)

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 専務理事

寺田 大泉

基調講演

【基調講演】

「DXと連携」による次世代サプライチェーン(仮)

- ・ 企業経営からみたサプライチェーン問題の潮流
- ・ DX/AIに対する期待と誤解
- ・ 経営者として物流DXにどう向き合うべきか

10:20
}
11:20

株式会社野村総合研究所 執行役員 コンサルティング事業担当
システムコンサルティング事業本部長 産業グローバル事業本部副本部長
(公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 理事)

郡司 浩太郎 氏



休憩10分

事例講演

物流DXの推進による企業価値創造と 企業間連携の取り組み

- ・ F-LINE発足の成果と課題について
- ・ これまでの物流DXの取り組みについて
- ・ 物流の未来を見据えたこれからの取り組みについて

11:30
}
12:10

F-LINE株式会社
上席理事 DXソリューション部長

荒田 光弘 氏



休憩10分

自動運転トラックで「共に支える」物流の未来

- ・ T2が目指している自動運転トラックの概要について
- ・ 2027年を予定している自動運転トラックのシステム・オペレーションについて
- ・ 自動運転トラック活用による物流の将来像

12:20
}
13:00

株式会社T2
事業開発本部 本部長

國年 賢 氏



昼休憩60分

パネルディスカッション

企業間連携で切り拓く物流の未来～標準化・効率化・法対応の最前線～

日本ロジスティクスシステム協会が主催する業界別DX実装検討WG（日用雑貨）での討議内容を踏まえ、今、企業に求められる取り組みについて、クロストーク形式で討議する。

キーノートスピーチ

14:00
～
14:30

- ・ユニットロード（一貫パレット輸送）の価値と新機材の考察
- ・複数種類のパレット管理と回収・管理ルール統一
- ・サプライチェーンにおける企業間・地域間のパレット運用

神戸大学 大学院 リサーチフェロー
（JILS業界別DX実装検討WG（日用雑貨）メンバー）

荒木 協和 氏



パネルディスカッション

【パネリスト】

JILS業界別DX実装検討WG（日用雑貨）メンバー

14:40
～
15:40

株式会社あらた ロジスティクス本部 統括マネージャー 久保田 博 氏

花王株式会社 SCM部門 ロジスティクスセンター 統括部長 山下 太 氏

小林製薬株式会社 製造本部 SCM部 国内物流管理グループ グループ長 長岡 裕輔 氏

株式会社PALTAC 専務執行役員 研究開発本部長 三木田 雅和 氏

ライオン株式会社 サプライチェーン企画本部 副本部長 兼 ロジスティクス政策部長 木村 忠彦 氏

【コーディネーター】

株式会社野村総合研究所 アーバンイノベーションコンサルティング部
シニアエキスパート

森川 健 氏

休憩15分

特別講演

【特別講演】

取材から見える物流業界～問題と課題～

15:55
～
16:55

働き方改革関連法が施行されて1年半。トラックドライバーたちから聞こえてくるのは「労働環境は今でも全くと言っていいほど変わっていない」という声。一方、経営者たちからは、人手不足が解消されず悲鳴が上がる。FAX、手荷役、トラガール…古い商慣習の呪縛からいまだ逃れられない日本の運送業界。今本当に必要な「働き方改革」とは何なのか。参加者とともに考える。

株式会社Outliers
代表取締役

橋本 愛喜 氏



休憩25分

17:20
～
18:30

【交流会】

Logistics Meetup（立食形式による交流会）

2025年度ロジスティクス大賞 受賞記念講演

13:05

2025年度ロジスティクス大賞について

13:10

ロジスティクス大賞ノミネート委員会 委員長（横浜国立大学 大学院 国際社会科学研究院 教授）鈴木 定省

13:10

2025年度ロジスティクス大賞 表彰式

13:25

【プレゼンター】公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 会長（コマツ 特別顧問）大橋 徹二

【ロジスティクス大賞 技術革新特別賞】

デジタルデータ・先端技術を活用した完全自動化
倉庫実現によるドライバー・作業員不足への対応

13:30

花王株式会社

14:15

【受賞事由】花王が推進する自動化倉庫プロジェクトは、ロボティクス、IoT、WMSといった先端技術を活用し、洗剤や化粧品といった生活消費財の物流において高度な自動化を実現した点が高く評価された。この取り組みにより、深刻化するドライバーや倉庫作業員の人手不足に対応するだけでなく、作業の標準化や効率化、省力化によって品質と安全性の向上にも寄与している。加えて、現場主導のカイゼンとITシステムの融合を図り、生産・物流・販売をシームレスにつなぐ次世代ロジスティクスモデルを構築している点も特筆される。これらの取り組みは、持続可能かつ高付加価値な物流体制の構築に貢献するものであり、技術革新特別賞に相応しいものと評価された。

休憩10分

【ロジスティクス大賞 社会性特別賞】

複数民間企業連携による東京港オフピーク輸送
トライアルプロジェクト

14:25

株式会社クボタ

15:10

【受賞事由】クボタが主導した東京港におけるオフピーク輸送トライアルは、民間企業同士の連携によって、輸送時間帯の平準化とドライバー負荷の軽減を実現しようとした先駆的な取り組みである。東京港の混雑を回避する夜間輸送や午前中搬出入へのシフトにより、待機時間の短縮・輸送効率の向上・温室効果ガス排出量の削減など、複数の効果を実証した。特に、荷主企業と物流企業の連携による制度・業務・意識面を含む多角的なアプローチは単なる実証にとどまらず、持続可能な運用の実装可能性を見据えた枠組みとなっている。今後の継続実施や対象企業の拡大によって、社会的課題の解決に資するモデルとしての展開が期待され、社会性特別賞に相応しい取り組みとして高く評価された。

休憩10分

【ロジスティクス準大賞】

機械部品業界のサプライチェーン在庫可視化による
ロジスティクス最適化

15:20

株式会社ミスミグループ本社

16:05

【受賞事由】ミスミグループが構築したサプライチェーン可視化プラットフォームは、受発注や在庫、輸送の状況をリアルタイムで統合管理することで、機械部品業界における納期遵守率の向上とリードタイムの大幅な短縮を実現した点が高く評価された。業界特有の多品種・少量・短納期という要請に応えつつ、需給変動に柔軟に対応する仕組みを自社内だけでなく取引先全体に展開して構築しており、物流改革にとどまらず調達から生産までの統合的な最適化を志向している点が特筆される。また、データドリブン経営の実現に向けてAI予測や動態データの活用も進められており、ものづくり基盤としての物流の価値を再定義する取り組みとして高く評価された。

休憩10分

【ロジスティクス大賞】

共同輸送データベースの普及による
フィジカルインターネットの実現に向けて

16:15

一般社団法人運輸デジタルビジネス協議会
株式会社traevo

17:00

【受賞事由】共同輸送の促進を目的に構築された共同輸送データベース [traevo] は、物流情報の可視化・共有を通じて、業種や業態を超えた実践的な水平連携の道を切り開いた点が高く評価される。特に、複数企業による輸送空間の共同活用や帰り便の確保、発着地や荷種等の条件に応じたマッチング機能の実装により、物流における非競争領域の協調を現実のものとした先駆的な取組である。これらの成果は、フィジカルインターネットの社会実装に向けた基盤整備とも位置づけられ、将来的には国際物流やカーボンニュートラルといった社会課題の解決にも貢献する可能性を有する。物流分野における革新的な共創モデルの提示として、他産業への波及も期待されることから、本取組はロジスティクス大賞に相応しいものと評価された。

休憩20分

【交流会】

Logistics Meetup（立食形式による交流会）

17:20

18:30

Logistics Meetup 2025

—— ロジスティクス関係者が集う交流会 ——

Logistics Meetup 2025は、全国からロジスティクスの関係者が一同に会する交流会です。未来につながるネットワークを形成し、課題解決の促進を目指します。立食形式で開催予定です。

【日時】 2025年9月25日(木)・10月17日(金)
17:20~18:30

【会場】 ベルサール虎ノ門(東京都港区)
※ロジスティクス全国大会2025 各日終了後に開催

参加対象者

- ・ロジスティクス強調月間2025の関係者
- ・ロジスティクス全国大会2025の登壇者(一部)
- ・ロジスティクス全国大会2025の参加者

上記の方々は無料で参加いただけます。



検索



ロジスティクス全国大会

【会期】 2025年9月25日(木)・10月17日(金)

【会場】 ベルサール虎ノ門、Zoomウェビナー

【定員】 200名(会場)

【参加料】

	1セッション参加	全セッション参加
JILS会員	12,100円	36,300円
JILS会員外	15,400円	46,200円

関西物流改善事例発表会

【会期】 2025年10月30日(木)

【会場】 TKPガーデンシティ大阪リバーサイドホテル、Zoomウェビナー

【定員】 150名(会場)

【参加料】

	参加料金
JILS会員	16,500円
JILS会員外	25,300円

※上記料金には、昼食代は含まれておりません。

中部ミライノ物流 EXCO2025

【会期】 2025年10月24日(金)

【会場】 名古屋市中企業振興会館

【定員】 300名

【参加料】

	参加料金
JILS会員	無料
JILS会員外	無料

九州ロジスティクス講演会

【会期】 2025年10月27日(月)

【会場】 リファレンス駅東ビル、Zoomウェビナー

【定員】 80名(会場)

【参加料】

	参加料金
JILS会員	8,800円
JILS会員外	16,500円

◆参加料は全て1名あたりの価格で消費税込。会場参加・オンライン参加ともに同価格です。◆

来場無料!

～来場事前登録のご案内～

初開催!!

中部ミライノ 物流EXCO 2025



ここからはじまる「ミライノ物流」～最新の技術とアイデアで新たな価値を～

会期 **2025年10月24日(金)** 9:00～17:00

会場 **名古屋市中小企業振興会館** (吹上ホール)9階展望ホール
愛知県名古屋市千種区吹上2丁目6-3

後援 中部運輸局／中部経済産業局／一般社団法人中部経済連合会／
名古屋商工会議所／一般社団法人愛知県トラック協会／東海倉庫協会

主催 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会

本イベントは来場事前登録制です
事前登録はこちら!

右記のQRコードより
来場事前登録をお願いします。



この案内状だけでは
入場いただけません

4つの機会、物流課題解決のヒントが見つかります!

1 企業PRコーナー

参加企業
13社による
ソリューション
を紹介!



2 講演会

中部企業
4社による物流の
課題解決事例
の講演!



3 交流タイム

来場者、
参加企業、
講師等と
自由に交流!

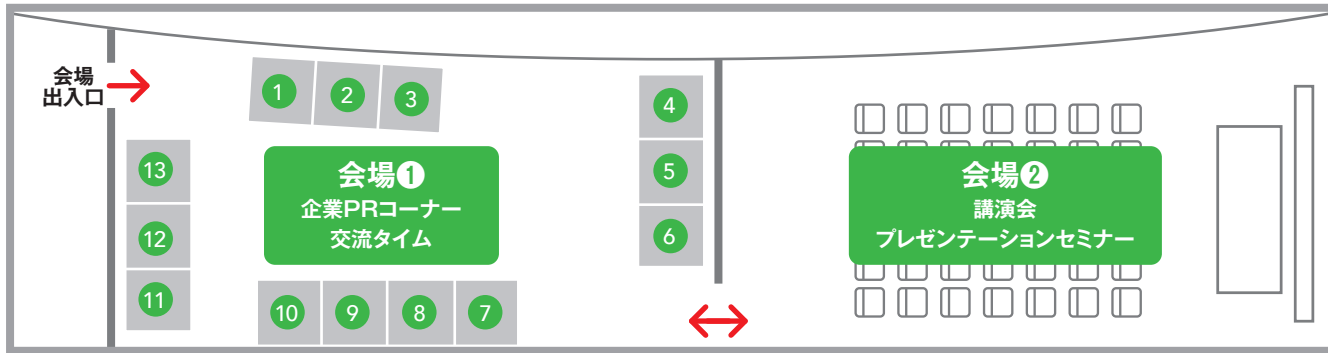


4 プレゼンテーションセミナー

参加企業各社による
ソリューションを
プレゼン!



中部ミライノ物流EXCO 2025 会場構成



企業PRコーナー参加企業

※丸数字は上図の企業PRコーナーの場所を示しています。

OPTIMIND

株式会社オプティマインド

1

X Mile

X Mile株式会社

2

FOVA Tech.

株式会社FOVAテック

3

A-SAFE

A-SAFE株式会社

4

Shippio

株式会社Shippio

5

東芝テック株式会社

東芝テック株式会社

6

itage

株式会社ITAGE

7

TUMIX

株式会社TUMIX

8

SOL

住商グローバルロジスティクス株式会社
(共同参加:住友商事株式会社)

9

アセンド株式会社

アセンド株式会社

10

tebiki

Tebiki株式会社

11

Harbitt

ハービット株式会社

12

HACOBU

株式会社Hacobu

13

事前登録はこちら!

中部ミライノ物流EXCO



講演会／プレゼンテーションセミナープログラム

9:00～	開 場	12:10～13:00	【交流タイム】 来場者・参加企業・講師による交流の時間
9:15～9:20	開会挨拶 松下 健 中部ミライノ物流EXCO 2025 実行委員会 委員長 (株)オプティマインド 代表取締役社長	13:00～13:35	プレゼンテーションセミナー セッション③ 13:00～ アセンド(株) 13:15～ (株)ITAGE 13:25～ A-SAFE(株)
9:20～9:35	主催者挨拶 「これからのロジスティクスのあるべき姿(仮)」 寺田 大泉 (公社)日本ロジスティクスシステム協会 専務理事	13:40～14:25	講演3 物流から創る企業価値:スギ薬局の取組み ～「成長戦略」と「基盤の安定」のために～ (株)スギ薬局 ロジスティクス統括部 部長 北川 信之 氏
9:35～10:20	講演1 デンソーが考える物流の未来像と取組み (株)デンソー 生産管理部 部長 末廣 誠章 氏	14:25～15:10	プレゼンテーションセミナー セッション④ 14:25～ 東芝テック(株) 14:35～ Tebiki(株) 14:50～ (株)オプティマインド 15:00～ X mile(株)
10:20～10:50	プレゼンテーションセミナー セッション① 10:20～ (株)Hacobu 10:30～ 住商グローバルロジスティクス(株)(※共同参加:住友商事(株)) 10:45～ (株)TUMIX	15:15～16:00	講演4 Mizkan物流課題解決に向けた実践と挑戦 ～脚下照顧に基づく現状否認の実行～ (株)Mizkan 生産物流本部 物流部 部長 安居 浩司 氏
10:50～11:35	講演2 物流業界の課題と弊社の取組み トランコム(株) 上席執行役員 新田 大輔 氏 トランコム(株) 物流情報サービスグループ 名古屋情報センター サブセンター長 林 杏倫 氏		
11:35～12:10	プレゼンテーションセミナー セッション② 11:35～ (株)Shippio 11:50～ (株)FOVAテック 12:00～ ハービット(株)		

※諸事情によりプログラムが変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

企業PRコーナー参加企業／サービス内容

(社名50音順)

(株)ITAGE

倉庫や工場内の最適化を支援する3つのソリューションで効率的な管理と業務改善を実現します。

アセンド(株)

運送・物流業界に特化したクラウド型物流DXシステム「ロジックス」を提供しています。

A-SAFE(株)

世界で初めて開発した高耐久の特殊ポリマー製防護柵で、安全な物流現場づくりを支援します。

(株)オプティマインド

AIと独自開発技術を活用し、物流の成長戦略を支える輸配送最適化ソリューション「Loogia(ルージャ)」を提供しています。

X Mile(株)

運送業界に特化した業務改善・経営支援クラウドサービス「ロジボケ」を提供しています。

(株)Shippio

貿易実務等国際物流に関する情報を一元管理する国際物流プラットフォームを提供しています。

住商グローバル・ロジスティクス(株)

(共同参加:住友商事(株))

倉庫等の自動化支援サービスおよびSaaS型DXツール「スマイルボードコネクト」を提供しています。

(株)TUMIX

厳格化する運行法令に対応した運送業の勤怠・労務管理ツール「TUMIXコンプラ」を提供しています。

Tebiki(株)

現場の教育課題を解決するクラウド型の現場教育システム「tebiki現場教育」を提供しています。

東芝テック(株)

バーコードやRFID等自動認識技術を活用した物流企業様向けのソリューションを提供しています。

ハービット(株)

大手荷主様/大手フォワーダー様の国際物流DXを支援するクラウドソリューションを提供しています。

(株)Hacobu

クラウド物流管理ソリューション「MOVO(ムーボ)」で物流の業務効率化/法改正対応を支援します。

(株)FOVAテック

次世代のロボティクスソリューション「カチャカプロ」でスマートで安全な搬送を実現します。

会場アクセス

会場 名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)9階展望ホール 愛知県名古屋市中千種区吹上2丁目6-3

右のQRコードからご確認いただけます



公共交通機関をご利用の場合 名古屋市営地下鉄桜通線「名古屋駅」より、徳重行き「吹上駅」下車5番出口より徒歩5分

お車を利用の場合 東名高速名古屋ICから西進、今池交差点左折→中道交差点まで南進し、右折→西へ約500m

中部ミライノ物流EXCO2025 実行委員会 委員一覧

2025年7月1日現在
(敬称略、五十音順)

委員長

松下 健 (株)オプティマインド 代表取締役社長

委員

青木 悠 (株)ITAGE プロダクト・ソリューション開発部 営業G 浅野 壮介 東芝テック(株) 中部支社 オートIDセールス&マーケティング部 オートID営業 第一担当 シニアエキスパート
齋藤 貴也 (株)オプティマインド マーケティング統括責任者 瀬上 大輔 (株)FOVAテック 取締役 営業本部 本部長
小久保 輝夫 (株)TUMIX 取締役 COO 片山 裕美 (株)Hacobu SaaS事業本部 マーケティング・コミュニケーション部

問い合わせ先



中部ミライノ物流EXCO

<https://www.logistics.or.jp/propulsion/enhancement/convention/chubu.html>

中部ミライノ物流EXCO 2025 事務局

〒460-0008 名古屋市中区栄1-22-16 ミナミビル407号
TEL:052-228-2225 E-mail:chubu@logistics.or.jp



ロジスティクス
強調月間
2025

9 10 月



物流を楽しもう〜多様な物流改善が明るく未来をつくる

関西物流改善事例 発表会2025

会期: 10/30(木)
10:00~17:00

会場参加・オンライン参加選択形式で開催

開催形式 **会場参加・オンライン参加選択形式**

会場 TKPガーデンシティ大阪リバーサイドホテル 6階 バンケット6A
[大阪市都島区:JRA桜ノ宮駅]

オンライン Zoom ウェビナー

主催

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会
一般社団法人日本物流資格士会 西日本委員会

ロジスティクス強調月間2025サポーター 一覧

株式会社IHJ	クボタロジスティクス株式会社	株式会社ダイフク	株式会社日本海新聞社
アセンド株式会社	X Mile株式会社	中国通信資材株式会社	ハービット株式会社
株式会社アライブロバンス	コマツ	Tebiki株式会社	株式会社パーマンコーポレーション
株式会社あらた	株式会社サーガ	デロイト トーマツ コンサルティング合同会社	株式会社ハンナ
E80グループジャパン合同会社	サカタウエアハウス株式会社	トーヨーカネツ株式会社	株式会社フジトランスコーポレーション
SBSリコロジスティクス株式会社	サンコーイングストリー株式会社	株式会社豊田自動織機 トヨタL&Fカンパニー	船井総研ロジ株式会社
株式会社NTTロジスコ	株式会社ジャパン・リリーフ	株式会社トランスロン	株式会社フリーロケーション
王子物流株式会社	株式会社スピードロール	日通NECロジスティクス株式会社	三菱商事株式会社
株式会社オプティマインド	株式会社住友倉庫	日本貨物鉄道株式会社	株式会社ライノス・パブリケーションズ
花王株式会社	西部電機株式会社	日本通運株式会社	株式会社流通研究社
鹿島建設株式会社	センコーグループホールディングス株式会社	日本電気株式会社	株式会社ワールドスタッフینگ

関西物流改善事例発表会 2025

開催にあたって



関西物流改善事例発表会2025
実行委員会

委員長 **望月 彰**
マグチグループ株式会社
取締役 執行役員
万博事業本部 本部長

物流業界では、いわゆる物流2024年問題をきっかけに顕在化したトラックドライバー、倉庫作業員・スタッフ等の労働力不足がますます深刻な状況となっています。

そのようななか、2025年4月1日から、「流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律」（改正後の名称：「物資の流通の効率化に関する法律」）および「貨物自動車運送事業法」の改正がなされ、一部の規定が施行されました。これらの法改正により、全ての荷主企業や物流事業者に対して、物流効率化のための努力義務が課されることとなりました。また、一定規模以上の企業には物流効率化にかかる中長期計画の策定・定期報告や物流統括管理者の選任等が義務化されるほか、2025年6月4日に可決・成立したトラック新法により物流の持続可能性と効率性の向上に向けた取り組みが法的に強化されました。

物流・ロジスティクスを取り巻く環境が大きく変化していくなか、物流現場では先進技術の活用とともに環境変化に柔軟に対応し、現場が自発的に率先して考え改善する「物流現場力」の一層の強化が求められています。

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会は、本年9月10月を「ロジスティクス強調月間」として定め、東京、名古屋、大阪、福岡の各地区で講演会、発表会を実施し、全国規模でロジスティクスの啓発、普及活動を展開しております。本年度は「ロジスティクスで未来を拓く～DXと連携が実現する次世代サプライチェーン～」を統一テーマとして、44機関のサポートのもと普及活動を実施いたします。

当協会関西支部では、ロジスティクス強調月間の一環として、ロジスティクスの高度化に寄与する物流現場の改善活動に焦点をあて、一般社団法人日本物流資格士会西日本委員会との共催による「関西物流改善事例発表会2025」を開催いたします。

本発表会では、「物流を楽しもう～多様な物流改善が明るい未来をつくる～」をテーマに、9件の優秀な企業事例を発表いただきます。

今回のプログラムは、現場担当者が知恵を絞った作業方法やプロセスの改善活動を中心に、最新技術の活用やパートナー企業との協働なども加わり、顧客サービス、物流品質、生産性の向上などに大きな成果をあげられた企業事例で構成されております。

また、特別講演では、三菱商事ロジスティクス株式会社 代表取締役 社長執行役員 田中 鉄 氏をお迎えし、「従業員が生き活きと活躍し、能力を発揮できる環境づくりに向けて」をテーマにご講演いただきます。

物流現場改善に積極的に取り組んでいる企業の事例を通じ、物流現場における課題解決の手がかりや、改善ノウハウを得られる機会であると確信いたしております。

つきましては、本発表会に積極的にご参加いただきますよう、よろしく申しあげます。

一般社団法人日本物流資格士会は、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会およびその前身の団体の下で養成された、物流スペシャリストである「物流技術管理士」「国際物流管理士」「物流管理士」「物流現場改善士」による組織です。わが国唯一の物流スペシャリスト資格者による交流組織で、会員の相互研鑽ならびに物流に関する知識と技術の向上を図ると共に、関連諸機関と連携して物流の合理化を推進することを目的としています。

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、物流の現場力の強化を目的に「物流現場改善推進のための手引書 改定版」を作成いたしました。⇒詳細およびダウンロードは、以下のページへアクセスしてください。<https://www1.logistics.or.jp/subdivision/kaizenbooklet.html>

関西物流改善事例発表会 プログラム

2025年10月30日(木)

10:00 ~ 10:05	開会 挨拶	関西物流改善事例発表会2025 実行委員会委員長 マグチグループ株式会社 取締役 執行役員 万博事業本部 本部長 望月 彰
10:05 ~ 10:20	JILSの 講演	「これからのロジスティクスのあるべき姿(仮)」 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会
10:20 ~ 10:45	事例 発表 1	長距離路線分割による「2024年問題」への対応 江崎グリコ株式会社 SCM本部ロジスティクス部チルド冷凍輸送G リーダー 藤崎 太一 氏 那須工場から広島DCへの長距離運行が2024年問題に抵触したため、運送会社より那須工場から大阪DC、大阪DCから広島DCへの分割路線変更の相談を受けたことから、周辺路線の積載状況を精査し、全体の大胆な組み換えにより運行時間短縮とコストダウンを両立した。 【改善活動で苦労した点】 複数の転送便を効率的に組み替えていく際、積み込み時間と納品時間の調整、拘束時間の確認とリードタイムの変更が必要であった点。倉庫現場、運送会社と何度も説明と交渉を行った点。 【改善チームの自慢できる点】 倉庫現場・運送会社双方にとって無理のない運行体制を構築できたこと、大きな課題に対してピンチと捉えずチャンスと捉えて解決策・改善策を一人一人が考えられるところが自慢できる点である。
10:45 ~ 11:10	事例 発表 2	反物(衣料品の生地)業務における入荷作業の効率化と 在庫管理の精度UP 丸二倉庫株式会社 善根寺営業所 吉村 竜馬 氏 誰でも出来る化、見える化、分かる化の観点から入荷仕分け看板の自動発行、ハンディターミナル (HT) を利用した入荷仕分け、棚番登録の効率化、入荷時の反物のハンドリングの改善を実施した結果、作業効率の大幅UPにつながった。 【改善活動で苦労した点】 現場作業員だけで出来る改善に限られていた為、関係各署に現状の困っている部分を細かく説明したり、現場を検証しながら改善点を洗い出し、新たなシステム開発とそれに伴う運用を軌道に乗せるところに苦労した。 【改善チームの自慢できる点】 反物担当者だけでなく、様々な寄託者の担当者が集まっているチームの為、改善を行う際、他寄託者の業務運営を参考にして改善できる点である。若手からベテランまで幅広い年齢層のチームであるため、多角的な視点からの改善が自慢できる点である。
11:10 ~ 11:35	事例 発表 3	体系的相互応援の実現に向けて ~属人化からの脱却~ 株式会社NTTロジスコサービス 西日本マーケティングロジスティクスセンター 岩田 拓馬 氏 小野 純輝 氏 業務単位の管理により各々人的リソースを確保していたが、繁忙期等の波動に耐えられる体制でなかったため、荷量と生産性をもとにした必要人員数と応援可能作業をガントチャートで見える化し、過不足人員を業務間で融通することでコスト削減を実現した。 【改善活動で苦労した点】 活動初期は、「自分たちの業務領域が脅かされる」といった心理的抵抗が現場作業員間に根付いており、部門間協力の障壁となった。メンバー全員に活動目的を繰り返し丁寧に説明し、現場目線で納得感を醸成することに最も苦労した。 【改善チームの自慢できる点】 改善チームの強みは、現場データを徹底的に分析し、根拠に基づいた最適化を推進できる点である。ガントチャートや業務フロー / 「求人票」を用いた「見える化」により作業員全員の理解・納得を引き出し、関係者協働による最適人員配置の実現につなげることができた。
昼休み65分 / 事例発表1~3の名刺交換		
12:40 ~ 13:05	事例 発表 4	国際コールドチェーンにおけるリーファーコンテナの 安全輸送実現に向けた取り組み 山九株式会社 神戸支店 営業グループ 井上 元喜 氏 冷蔵・冷凍輸送中に発生する商品ダメージを防いで輸出先へ安全に届けるため、商品ダメージの原因である冷蔵機器の故障削減に取り組んだ。冷蔵機器の故障削減に向け、コンテナ内にある冷蔵機器への貨物衝突を防ぐため貨物の振動や衝撃を抑える実証実験を実施した結果、従来10%台で推移していた商品ダメージによるロス率が1%に改善した。 【改善活動で苦労した点】 冷蔵・冷蔵品の国際輸送では、商品ダメージ発生率15%が当たり前との業界認識が根付いており改善に対する意識付けのため何度も実証実験を重ねた点が今回の改善活動で苦労した点である。 【改善チームの自慢できる点】 物流分野の改善では安全性・コスト削減・作業性など複合的に課題をクリアしなければ持続可能な改善にならないが今回、諦めることなく最後まで取り組めたことが自慢できる点である。
13:05 ~ 13:30	事例 発表 5	現場の声をカタチに ~倉庫・工場との連携によるクレート洗浄作業の効率化~ 江崎グリコ株式会社 SCM本部ロジスティクス部チルド冷凍輸送G チルドオペレーションチーム 多田 進一 氏 チルド輸送メンバー全員が担当倉庫へ訪問し現場担当者との改善活動を実施し、大阪DPで実施していたデザートクレートの手洗浄(1日3パレット)を、工場での自動洗浄方式へ切り替えるとともに、岐阜工場との協議を通じ、転送便の出発時間を前倒しすることで時間外労働を大幅に削減した。 【改善活動で苦労した点】 今回の改善活動では物流事業者・工場・ロジスティクス部と複数の部署間での調整が必要であった。ロジスティクス部として双方の要望を含めて最善策を講じることに苦労があった。 【改善チームの自慢できる点】 複数部署とのやり取りの中で主体的に能動的にリードする意識を持ち、各部署の意見に耳を傾けて迅速かつ確に対応できるところが非常に自慢できる点である。

13:30 } 13:55	事例発表 6	<h2>共通化を考慮したサンルーフパレットの新規開発</h2> <p>株式会社アイシン・ロジテックサービス 物流部 係長 谷口 大輔 氏</p> <p>サンルーフパレットは製品サイズに合わせてパレット設計されていたが、パレット種類の増加と遊休パレットの保管スペースが問題となっていた。国内外40顧客145工場へ出荷されているオートマチックトランスミッションの共通化ノウハウを横展開し、改善に繋げた。</p> <p>【改善活動で苦労した点】 顧客が異なるパレットの共通化に合意を得ることに苦労した。また、サイズや形状の異なる製品群の共通化範囲を定めるための合議に苦慮した。</p> <p>【改善チームの自慢できる点】 荷姿検討において、部分最適にとらわれず全体最適を常に意識し、既存概念に縛られない提案ができる点が、我がチームの誇れる強みである。</p>
---------------------	------------------	---

休憩20分 / 事例発表4～6の名刺交換

14:15 } 14:40	事例発表 7	<h2>～好かれる荷主になろう!～ 物流業務初心者が実現した積載率UPと待機時間削減</h2> <p>ホクシン株式会社 営業業務部 物流グループ 田端 直子 氏</p> <p>積載率90%以上を目標に掲げ、各担当が1車ずつ荷姿を事前に検討することで、積載率が86.24%(2016年度)から最大94.5%(2024年度)に向上した。また、2023年度から待機時間のデータ化を開始し、積み込み倉庫の集約・リフトマン増員・受付システム導入によって待機時間50分以内を実現した。</p> <p>【改善活動で苦労した点】 積載率・積載を理解するため、トラック容積に収めるよう1台毎の積載図を紙に書き出した。待機時間:手書きの受付簿を2年分データ化するため、エクセル入力が必要だった。分散された積み込み倉庫の集約に苦労した。</p> <p>【改善チームの自慢できる点】 部署4名のコミュニケーションが充実しており、全員で継続的な改善に取り組む姿勢を大切にしている。新しいシステムや情報に抵抗がなく、従来の枠組みにとらわれない方法でチャレンジできる。</p>
---------------------	------------------	--

14:40 } 15:05	事例発表 8	<h2>倉庫の宝箱化プロジェクト ～メーカー系物流会社に取り組んだ モノづくり目線での「ムダ」から「付加価値」への大転換～</h2> <p>クボタロジスティクス株式会社 SAISプロジェクト 安本 菜月 氏</p> <p>エンジンタイプ毎で異なるパレットを使用していたことで、生産ラインでは各種ロスが発生していたことから、新パレットを開発・導入し完全順序納入を倉庫内作業で実現した結果、製造目線ではムダの代表格である「倉庫」の機能を最大化し生産効率アップ(付加価値創出)のモデル構築に成功した。</p> <p>【改善活動で苦労した点】 対象のエンジンは100kg～300kgで大きさも仕様も生産工場も異なる約70種類。これらすべてをカバーできるパレット設計は困難を極め、3D-CADのデータを分析し、最適なパレットを設計・製作することにとても苦労した。</p> <p>【改善チームの自慢できる点】 このプロジェクトは後工程である製造部門での付加価値創出の活動で、理想を現実とする活動のモデルケースである。この課題をエンジン技術・製造の各部門の協力と当社メンバーのノウハウを結集し、one-Kubotaで実現したこと。</p>
---------------------	------------------	---

15:05 } 15:30	事例発表 9	<h2>新倉庫キャパシティ拡大に伴うスキーム変更と 物流コスト最適化</h2> <p>江崎グリコ株式会社 SCM本部ロジスティクス部チルド冷凍輸送G チルドオペレーションチーム 篠田 貴之 氏</p> <p>新デポ移転に伴う保管容量(キャパシティ)拡大により保有在庫日数増加が可能になったため、仕入れ転送のスキームを見直し、工場⇒倉庫⇒倉庫⇒新デポの運用から工場⇒新デポの直送を実現した結果、中間コスト(保管料・荷役料)を削減することに成功した。</p> <p>【改善活動で苦労した点】 複数拠点を介する複雑なスキームであったため活動を進めて行く中で交渉する相手が多く、一つ一つ納得いく形で合意を得ていくことが苦労した点である。</p> <p>【改善チームの自慢できる点】 倉庫移転という大きなイベントを実施する過程で、移転のみならず移転を機に最適化を意識して改善活動に繋げようとする意識の高さがチームとして自慢できる点である。</p>
---------------------	------------------	---

15:30 } 15:35		<h2>各発表者に記念品贈呈</h2>
---------------------	--	---------------------

休憩20分 / 事例発表7～9の名刺交換

15:55 } 16:55	特別講演	<h2>従業員が生き生きと活躍し、 能力を発揮できる環境づくりに向けて</h2> <ul style="list-style-type: none">人材の確保と早期活躍に向けた研修等についてマネジメント層の育成について多様な働き方を実現するための制度や仕組みづくりについて従業員エンゲージメント向上に向けた取り組み <p>三菱商事ロジスティクス株式会社 代表取締役 社長執行役員 田中 鉄 氏</p> <p>■略歴 1993年4月、三菱商事株式会社入社。1998年1月、Mitsubishi International Corporationへ出向(2002年9月まで)(勤務地:ニューヨーク)。2014年7月、三菱商事ロジスティクス株式会社へ出向。アパレルソリューショングループ担当役員。2017年4月、三菱商事株式会社 物流事業部長。2022年4月、同社 タイヤ部長。2024年4月、三菱商事ロジスティクス株式会社へ出向。常務執行役員(兼)経営企画部長。2025年4月、同社 代表取締役 社長執行役員 就任。</p>
---------------------	------	--

16:55 } 17:00	閉会挨拶	関西支部運営委員会 委員長 ダイキン工業株式会社 物流本部 物流本部長 生地 幹
---------------------	------	--

※都合により講演者、テーマ等、プログラムが変更になる場合がございます。

実行委員会 委員一覧

委員長	望月 彰	マグチグループ株式会社 取締役 執行役員 万博事業本部 本部長
副委員長	新瀬 幸司	ワコール流通株式会社 代表取締役社長
委員	上田 明広	株式会社インダ 執行役員 営業本部 営業管理部 部長 兼 建設工事管理室 室長
委員	山下 修司	株式会社NTTロジスコ ICT事業本部 ICT営業担当部長 兼 茨木物流センター長
委員	榎 晃司	オムロン株式会社 グローバル購買・品質・物流本部 リージョナル物流部 日本物流グループ長 経営基幹職
委員	安沢 大輔	クボタロジスティクス株式会社 総務部 部長
委員	篠原 武志	コイズミ物流株式会社 経営企画部 執行役員 部長
委員	太期 健仁	コクヨサプライロジスティクス株式会社 物流本部 物流2部近畿IDC副統括所長
委員	橋本 昌倫	佐川グローバルロジスティクス株式会社 営業部 関西エリア エリアマネジャー
委員	高木 健一	株式会社ジップ 取締役 ベネッセフルフィルメント事業本部 本部長
委員	小阪 英智	センコー株式会社 広島支店 支店長 兼 山陽センコー運輸 代表取締役社長
委員	武田 重治	ダイキン工業株式会社 物流本部 企画部長
委員	森口 哲博	ダイセル物流株式会社 安全品質推進部 部長
委員	松本 良彦	大和物流株式会社 物流統括本部 営業部 部長
委員	丸山 義弘	日本通運株式会社 関西アカウントセールス部 専任部長
委員	板垣 大介	日本物流資格士会 西日本委員会 西日本委員長
委員	山崎 幸哉	日本物流資格士会 西日本委員会 西日本委員
委員	柴田 吉政	レンゴーロジスティクス株式会社 営業本部 西部営業部 九州営業部 部長

開催概要

名称 関西物流改善事例発表会2025

目的 経営環境が目まぐるしく変化する産業界において、重要性が高まっているサプライチェーンマネジメント・ロジスティクスを効果的に機能させ企業価値を高めるためには、経営その他の環境変化に柔軟に対応し、現場が自発的に率先して考え改善する「物流の現場力」の強化が欠かせない。
 関西物流改善事例発表会2025は、物流改善の発表を通じ、顧客サービス、物流品質、生産性の向上、物流の高度化および労働力不足の解決の手がかりやヒントを参加者と発表者で共有することで、物流改善活動の更なる活性化を促進することを目的に開催する。

テーマ 物流を楽しもう～多様な物流改善が明るい未来をつくる～

会期 2025年10月30日(木) 10:00～17:00

会場 TKPガーデンシティ大阪リバーサイドホテル 6階 バンケット6A(大阪市都島区)

企画運営 関西物流改善事例発表会2025 実行委員会

事務局 公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 関西支部

【関西物流改善事例発表会2024(前回) 参加者の声】

- 参加者Aさん(物流事業者):「地道な改善が多く、現場で参考になる取り組みを聞いた点がよかった。」
 参加者Bさん(荷主企業):「荷主と物流企業が協働して改善した事例は興味深い内容だった。」
 参加者Cさん(物流事業者):「働き方が多様化するなか、従業員目線で改善を実施している点がよかった。」
 参加者Dさん(物流事業者):「改善のプロセスを動画でプレゼンしていた点がわかりやすかった。」
 参加者Eさん(その他サービス事業者):「実際に発表を聞くことで、改善に至った背景やプロセスをより理解することができた。」

～物流現場改善に取り組む皆さんを応援します！～ 物流現場改善優良認定制度のご案内

日本ロジスティクスシステム協会では「物流現場改善優良認定」制度を2022年度よりスタートいたしました。本制度は物流現場改善に積極的に取り組まれている皆様の活動を応援すべく、物流現場改善の先進企業として認定することで、広く産業界に周知させていただくことをねらいとしております。



【物流現場改善優良認定 ロゴマーク】



※提供したロゴマークのデータは名刺や会社案内等各種媒体への掲載など自由にご活用ください。
 ※認定は年度ごとに実施しており、ロゴマーク自体に認定年度(西暦)が記載されます。なお、認定基準等につきましては当協会HPをご覧ください。

参加要項

参加申込規程

参加料 (会場参加・オンライン参加ともに同価格です。)

	参加料金 (消費税込)
日本ロジスティクスシステム協会 会員 日本物流資格士会 会員	16,500円/1名
上記会員外	25,300円/1名

※上記料金には、昼食代は含まれておりません。

◆有資格者優待 (フォローアッププログラム)

当協会では、有資格者のためのフォローアッププログラムを実施しております。本プログラムは、当協会主催の講座で習得した知識をより深め実践の場で活用できる能力を身につけたいという、有資格者からの強い希望を受けて、当協会認定の資格※をお持ちの方に、当協会主催のプログラムを、優待料金にてご提供するものです。実践力の強化、最新の情報収集の場として、ぜひご活用ください。

◇フォローアッププログラム参加料: 11,000円/1名 (消費税込)

フォローアッププログラムにお申し込み後、参加者が資格をお持ちでない方に変更になった場合は、参加料の差額を請求させていただきます。あらかじめご了承ください。

有資格者優待の該当保有資格をご確認ください。

※ロジスティクス経営士、国際物流管理士、グリーンロジスティクス管理士、物流技術管理士、物流現場改善士

参加定員

●会場参加：150名 (定員になり次第、締め切らせていただきます)

参加申込方法

●WEBサイトからお申し込みください。

当協会ホームページの本プログラムのページよりお申し込みください。

※右記QRコードから「九州ロジスティクス講演会」専用ページにアクセスいただけます。

※QRコードは画面の傷、汚れ、光の反射等によって読み取れない場合があります。

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



トップ

事業案内

改善事例
大会・発表会

会場のご案内

TKPガーデンシティ 大阪リバーサイドホテル

〒534-0027 大阪府大阪市都島区中野町5-12-30

交通のご案内

JR大阪環状線 「桜ノ宮」 駅徒歩3分

参加料支払い方法

●WEB請求書で請求いたします。

●WEB請求書は原則としてお申込み手続きご担当者へのE-mail宛に送付いたします。それ以外をご希望の方は、協会への連絡事項欄にご指示ください。

●WEB請求書が届き次第、指定の銀行口座にお振込みください。

●お支払いは、原則として開催前日までにお願いいたします。

※開催後になる場合は、参加申込書の支払予定日欄に明記してください。

※開催前日までに参加料のお振込みがなかった場合でも、自動的に参加の取消とはなりません。

●振込手数料はお客様にてご負担願います。

【キャンセル規定】

開催7日前～前々日 (開催日含まず起算) ……参加料 (消費税を除く) の30%

開催前日および当日 ……参加料 (原則として消費税を除く) の全額

※参加申込をキャンセルする場合は事前に問い合わせ先にお申し出ください。

ご注意

●お申し込み時に会場参加もしくはオンライン参加をご選択ください。

●参加者全員にPDFテキストをメール等にて事前にお送りいたします。

※発表により、テキストデータ送付が不可となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

●会場参加者につきましては、開催日当日、会場にて冊子テキストをお渡しいたします。

※オンライン参加者には冊子テキストの配布はございません。

※テキストのみの販売はいたしておりません。

●スライド内容を撮影する目的での写真撮影および発表内容の録音はご遠慮ください。

事務局

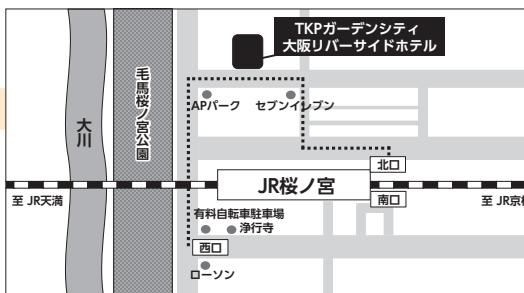
公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 関西支部

〒530-0001 大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞ビル11F

e-mail : kansai@logistics.or.jp

個人情報のお取り扱いについて

当協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシー (<https://www1.logistics.or.jp/privacy.html>) をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本発表会に関する確認・連絡・参加者名簿の作成および当協会主催の関連催し物のご案内をお送りする際に利用させていただきます。



オンライン参加について

会場での発表をオンラインライブ配信 (Zoom利用) いたします。

日本ロジスティクスシステム協会 (以下「主催者」という) が定める「JILSオンライン研修受講にあたってご承知いただきたいこと」と、以下の事項に同意のうえお申し込みください。

<https://www1.logistics.or.jp/Portals/0/pdf/onlinekensyu.pdf>

●Zoomクライアントが使用できない場合はご参加いただけません。開催前に接続確認のご案内をいたします。

●本発表会の参加者は申込時に登録した参加者に限定し、1人1台のデバイスでご参加いただけます。

●主催者に起因する事由や不測の事態により通信が中断した場合は、録画した本発表会を期間限定で配信します。

●参加者に起因する事由により通信が中断した場合は、主催者は責任を負わないものとします。

●本発表会の録画、録音、撮影は禁止します。

●参加者により運営を妨げるおそれのある行為がある場合、対象者の聴講を中止する場合があります。

プログラム内容の
お問い合わせ先

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 関西支部

TEL.06-4797-2070 e-mail : kansai@logistics.or.jp

会場参加・オンライン参加選択形式で開催

九州ロジスティクス 講演会2025

2024年問題からその先へ ~持続可能なロジスティクスの実現に向けて~

会期

10月27日 (月)
13:30~17:30

開催形式

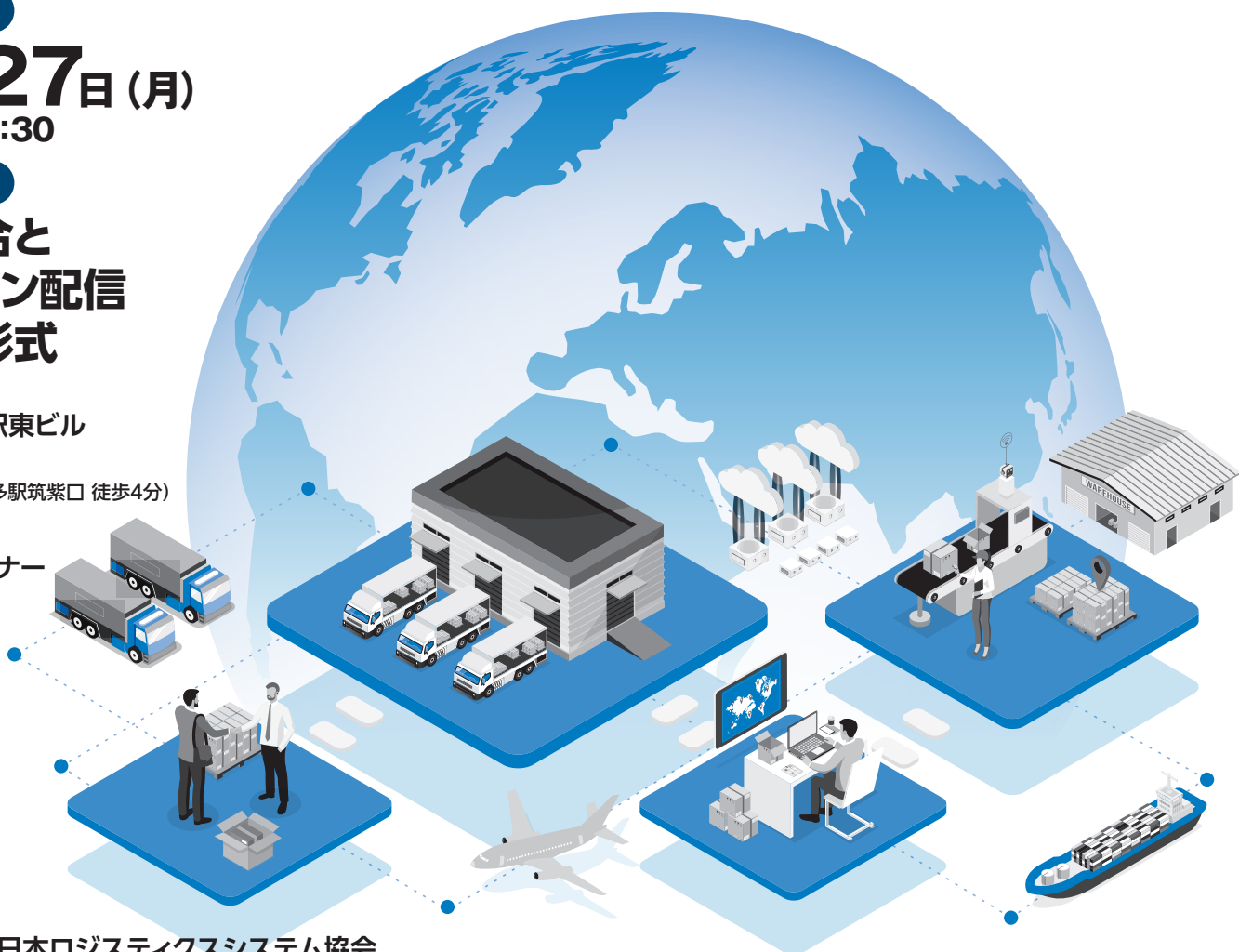
会場集合と
オンライン配信
の選択形式

会場

リファレンス駅東ビル
4階 Q号室
(福岡市博多区:博多駅筑紫口 徒歩4分)

オンライン

Zoom ウェビナー



主催

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会

ロジスティクス強調月間2025サポーター 一覧

株式会社IH1	クボタロジスティクス株式会社	株式会社ダイフク	株式会社日本海事新聞社
アセンド株式会社	X Mile株式会社	中国通信資材株式会社	ハービット株式会社
株式会社アライブロバンス	コマツ	Tebiki株式会社	株式会社パーマンコーポレーション
株式会社あらた	株式会社サーガ	デロイト トーマツ コンサルティング合同会社	株式会社ハンナ
E80グループジャパン合同会社	サカタウエアハウス株式会社	トヨーカネツ株式会社	株式会社フジトランスコーポレーション
SBSリコーロジスティクス株式会社	サンコーインダストリー株式会社	株式会社豊田自動織機 トヨタL&Fカンパニー	船井総研ロジ株式会社
株式会社NTTロジスコ	株式会社ジャパン・リリーフ	株式会社トランストロン	株式会社フリーロケーション
王子物流株式会社	株式会社スピードロール	日通NECロジスティクス株式会社	三菱商事株式会社
株式会社オプティマインド	株式会社住友倉庫	日本貨物鉄道株式会社	株式会社ライノス・パブリケーションズ
花王株式会社	西部電機株式会社	日本通運株式会社	株式会社流通研究社
鹿島建設株式会社	センコーグループホールディングス株式会社	日本電気株式会社	株式会社ワールドスタッフィング

九州ロジスティクス講演会 2025

ご挨拶



九州・山口地域
ロジスティクス委員会
委員長

松本 豊樹

株式会社安川ロジステック
代表取締役社長

日本経済は緩やかに回復しているものの、米国の通商政策等による不透明感がみられるほか、物価高騰やエネルギーコストの上昇、深刻化する労働力不足といった課題に直面しています。

ロジスティクス・物流分野においては、2025年4月1日から、「流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律」（改正後の名称：「物資の流通の効率化に関する法律」）および「貨物自動車運送事業法」の改正がなされ、一部の規定が施行されました。これらの法改正により、全ての荷主企業や物流事業者に対して、物流効率化のための努力義務が課されることとなりました。また、一定規模以上の企業には物流効率化にかかる中長期計画の策定・定期報告や物流統括管理者の選任等が義務化されるほか、2025年6月4日に可決・成立したトラック新法により物流の持続可能性と効率性の向上に向けた取り組みが法的に強化されました。

持続可能なロジスティクス、物流を実現するため、産学官がより連携を強化し、従来の枠組みにとられない変革と共創の取り組みが急務となっております。

このような状況のもと、公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会（JILS）では1992年の創立以来、ロジスティクスの高度化による社会経済の健全な発展を推進することを目的に、毎年「ロジスティクス強調月間」を定め、東京、名古屋、大阪そして福岡で講演会を実施し、全国規模でロジスティクスの普及活動を展開しております。

本年度は「ロジスティクスで未来を拓く～DXと連携が実現する次世代サプライチェーン～」を統一テーマとして、44機関のサポートのもと、9月10月に普及活動を実施いたします。

その一環として、九州・山口地域では、「2024年問題からその先へ～持続可能なロジスティクスの実現に向けて～」をテーマに、10月27日（月）に「九州ロジスティクス講演会2025」を開催いたします。

本講演会では、講師と参加者相互の交流を通じて、2024年問題を契機にさまざまな課題が浮き彫りになったなか、サステナブルなロジスティクスを実現するための方策について考察いたします。

特別講演では、株式会社デンソーウェーブ エッジプロダクト事業部 首席技師の原 昌宏 氏より、『社会を変えたQRコードの開発と成長』をテーマに、QRコードの開発エピソードや、現在までの進化の歴史、今後の展望等についてご講演いただきます。

また、企業事例講演としては、九州電力株式会社 梶原 慎介 氏、大橋 良平 氏のお二人から「九電グループのDXに関する取り組み」を、花王株式会社 田坂 晃一 氏からは「花王のロジスティクスの自動化・高度化への取り組み」についてご講演をいただきます。

本講演会が、九州・山口地域における今後の企業と経済の成長に繋がる多くのヒントを発見できる最良の場となることを確信いたしております。

関係各位の積極的なご参加を心からお待ちいたしております。

（2025年7月31日現在・敬称略・順不同）

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 九州・山口地域ロジスティクス委員会 委員名簿

委員長	佐藤 健太 (株)サトウロジック 取締役 営業部長
松本 豊樹 (株)安川ロジステック 代表取締役社長	南 利典 三和酒類(株) SCM本部 部長
副委員長	秋本 委 西部電機(株) マテハン事業部 技術部
星野 裕志 中村学園大学流通科学部 特任教授・九州大学 名誉教授	田坂 靖 トヨタ自動車九州(株) 生産企画部 企画室
河村 孝史 TOTO(株) サプライチェーン本部 物流推進部 部長	物流企画グループ長
委員	吉富 秀介 中川運輸(株) 代表取締役社長
世戸 武男 アサヒロジ(株) 西日本支社営業部 部長	廣山 勝一 日本通運(株) Westカンパニー 九州営業部 部長
吉元 正美 白杵運送(株) 執行役員 西九州統括本部 副本部長	眞鍋 和弘 (株)博運社 代表取締役社長
磯野 崇 S B S 東芝ロジスティクス(株) 九州支店 支店長	初村 雅敏 初村ロジソリューションズ(株) 代表取締役
堀内憲一郎 霧島酒造(株) 取締役 SCM本部 本部長	辻本 晃教 (株)松岡 物流部 西日本地区リーダー 福岡物流センター 所長
中村 星児 久留米運送(株) 九州北地区本部 営業管理部 部長	竹川 晃司 三菱倉庫(株) 福岡支店 支店長
平田 圭 (株)健康家族 熊本支社 支社長	平田 真一 (株)安川ロジステック 取締役 管理本部長
福田 成雪 金剛(株) 取締役 製造本部	御船 弘久 ヤマエ久野(株) 常務執行役員 物流本部 副本部長

九州ロジスティクス講演会 プログラム

2025年10月27日(月)

13:30~13:40

開 会

株式会社安川ロジステック
代表取締役社長
九州・山口地域ロジスティクス委員会 委員長
松本 豊樹 氏



13:40~13:55

「これからのロジスティクスのあるべき姿(仮)」

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会

14:00~15:00

特別講演

「社会を変えたQRコードの開発と成長」

- ・QRコードの開発背景と特長
- ・時代とともに変わる市場ニーズに対応するために進化したQRコードの紹介
- ・QRコードの普及活動の取り組みと活用事例の紹介

株式会社デンソーウェーブ
エッジプロダクト事業部
主席技師
原 昌宏 氏



休 憩 (10分)

15:10~16:10

事例講演①

「九電グループのDX推進とその実践例」 ～LNG取引・配船の高度化を中心に～

- ・九電グループのDXに関する取り組み
- ・デジタル技術を活用した「企業変革」
- ・LNG取引・配船におけるDXの実践と成果

九州電力株式会社
テクニカルソリューション統括本部
DX推進本部 DX戦略グループ 副長
梶原 慎介 氏



九州電力株式会社
テクニカルソリューション統括本部
DX推進本部 デジタルエンジニアグループ
大橋 良平 氏



休 憩 (10分)

16:20~17:20

事例講演②

「花王のロジスティクスの自動化・高度化への取り組み」

- ・花王/花王SCM概要
- ・豊橋工場での花王の工場・物流一体化の取り組み
- ・物流施設の庫内マネジメントの高度化
- ・花王が目指すロジスティクスの姿

花王株式会社 SCM部門
ロジスティクスセンター
ロジスティクス改革部・マネジャー
田坂 晃一 氏



17:20~17:30

閉 会

TOTO株式会社 サプライチェーン本部 物流推進部 部長
九州・山口地域ロジスティクス委員会 副委員長
河村 孝史 氏

※都合により講演者、テーマ等、プログラムが変更になる場合がございます。

参加要項

参加申込規程

参加料 (会場参加・オンライン参加ともに同価格です。)

	参加料金 (消費税込)
日本ロジスティクスシステム協会 会員	8,800円/1名
上記会員外	16,500円/1名

◆有資格者優待 (フォローアッププログラム)

当協会では、有資格者のためのフォローアッププログラムを実施しております。本プログラムは、当協会主催の講座で習得した知識をより深め実践の場で活用できる能力を身につけたいという、有資格者からの強い希望を受けて、当協会認定の資格※をお持ちの方に、当協会主催のプログラムを、優待料金にてご提供するものです。実践力の強化、最新の情報収集の場として、ぜひご活用ください。

◇フォローアッププログラム参加料：5,500円/1名 (消費税込)
フォローアッププログラムにお申し込み後、参加者が資格をお持ちでない方に変更になった場合は、参加料の差額を請求させていただきます。あらかじめご了承ください。

有資格者優待の該当保有資格をご確認ください。

※ロジスティクス経営士、国際物流管理士、グリーンロジスティクス管理士、物流技術管理士、物流現場改善士

参加定員

●会場参加：80名 (定員になり次第、締め切らせていただきます)

参加申込方法

●WEBサイトからお申し込みください。

当協会ホームページの本プログラムのページよりお申し込みください。

※右記QRコードから「九州ロジスティクス講演会」専用ページにアクセスいただけます。

※QRコードは画面の傷、汚れ、光の反射等によって読み取れない場合があります。

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



トップ

事業案内

ロジスティクス講演会

参加料支払い方法

●WEB請求書で請求いたします。

●WEB請求書は原則としてお申込み手続きご担当者のE-mail宛に送付いたします。それ以外をご希望の方は、協会への連絡事項欄にご指示ください。

●WEB請求書が届き次第、指定の銀行口座にお振込みください。

●お支払いは、原則として開催前日までをお願いいたします。

●振込手数料はお客様にてご負担願います。

【キャンセル規定】

開催7日前～前々日 (開催日を含まず起算) ……参加料 (消費税を除く) の30%

開催前日および当日 ……参加料 (原則として消費税を除く) の全額

※参加申込をキャンセルする場合は事前に問い合わせ先にお申し出ください。

ご注意

●お申し込み時に会場参加もしくはオンライン参加をご選択ください。

●参加者全員にPDFテキストをメール等にて事前にお送りいたします。

※講演により、テキストデータ送付が不可となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

●会場参加者につきましては、開催日当日、会場にて冊子テキストをお渡しいたします。オンライン参加者には冊子テキストの配布はございません。なお、テキストのみの販売はいたしておりません。

●スライド内容を撮影する目的での写真撮影および講演内容の録音はご遠慮ください。

事務局

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 関西支部

〒530-0001 大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞ビル11F

e-mail : kansai@logistics.or.jp

個人情報のお取り扱いについて

当協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシー (<https://www1.logistics.or.jp/privacy.html>) をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本講演会に関する確認・連絡・参加者名簿の作成および当協会主催の関連催し物のご案内にお送りする際に利用させていただきます。

会場のご案内

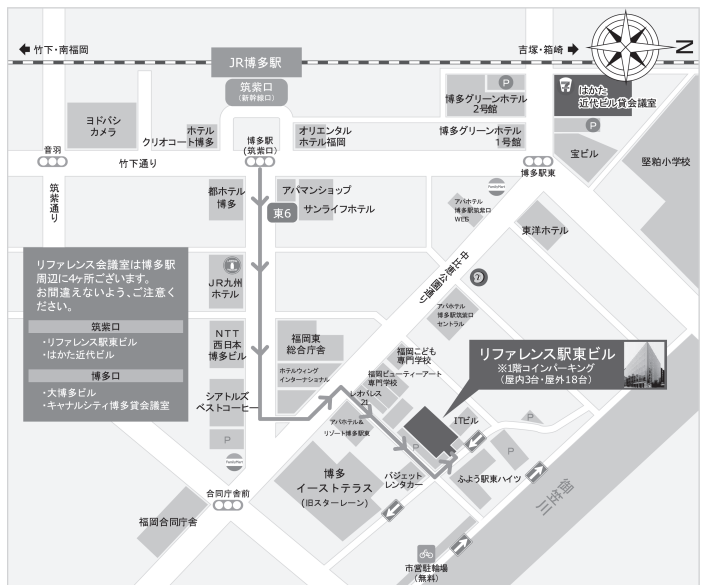
リファレンス駅東ビル 4階 Q号室

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-16-14 リファレンス駅東ビル

交通のご案内

●JR博多駅 筑紫口 徒歩4分

●福岡市営地下鉄博多駅 筑紫口 徒歩4分



オンライン参加について

講演会会場での講演をオンラインライブ配信 (Zoom利用) いたします。

日本ロジスティクスシステム協会 (以下「主催者」という) が定める「JILSオンライン研修受講にあたってご承いただきたいこと」と、以下の事項に同意のうえお申し込みください。

<https://www1.logistics.or.jp/Portals/0/pdf/onlinekensyu.pdf>

●Zoomクライアントが使用できない場合はご参加いただけません。開催前に接続確認のご案内をいたします。

●本講演会の参加者は申込時に登録した参加者に限定し、1人1台のデバイスでご参加いただけます。

●主催者に起因する事由や不測の事態により通信が中断した場合は、録画した本講演会を期間限定で配信します。

●参加者に起因する事由により通信が中断した場合は、主催者は責任を負わないものとします。

●本講演会の録画、録音、撮影は禁止します。

●参加者により運営を妨げるおそれのある行為がある場合、対象者の聴講を中止とする場合があります。

プログラム内容の
お問い合わせ先

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 関西支部

TEL.06-4797-2070 e-mail : kansai@logistics.or.jp

——お問い合わせ——
公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会
J I L S総合研究所 坂口

〒105-0022 東京都港区海岸 1-15-1 スズエベイディアム 3F
E-mail : sakaguchi@logistics.or.jp
URL : <https://www1.logistics.or.jp>